

# 公民館からのお知らせ

問い合わせ：明日香村教育委員会事務局 教育課 ☎54-3637

## 公民館主催講座のご案内

### ☆飛鳥史学文学講座

**【日時】** 4月13日(日) 13時～  
**【場所】** 明日香村中央公民館 1階 ホール  
**【講師】** 関西大学名誉教授 米田 文孝  
**【内容】** 牽牛子塚古墳の副葬品再考  
 一七宝亀甲形飾金具の用途を中心に—  
 ※明日香村在住の方、関西大学学生、本講座に興味のある中高生は受講料無料です。  
 明日香村の皆様のご受講を、心からお待ちしています。  
**【問い合わせ】** 関西大学教育後援会  
 ☎06-6368-0055

### □英会話講座

やさしい日常会話から言語や文化に対する理解を深め、実践的なコミュニケーション能力を身につけ、英語の楽しさを体感しませんか？  
**【対象】** 初級 英会話未経験者／中級 経験者  
**【回数】** 年間14回程度  
**【日時】** 水曜日の14時～15時30分予定  
 (下記日程には予備日を設けています。)  
**【初級】** 5月21日、6月4日、6月18日、7月2日、9月3日、9月17日、10月29日、11月12日、11月26日、12月3日、12月17日、1月21日、2月4日、2月25日、3月11日  
**【中級】** 5月14日、5月28日、6月11日、6月25日、7月9日、9月10日、9月24日、10月22日、11月5日、11月19日、12月10日、1月14日、1月28日、2月18日、3月4日  
 ※都合により日程が変更になる場合があります。  
**【場所】** 明日香村中央公民館 2階 研修室1  
**【受講料】** 無料  
**【講師】** パケッテ・ルーク・アンドレ 先生  
**【定員】** 14名  
**【締切日】** 4月20日(日) ※先着順  
**【受講資格】** 村内在住・在勤、村で活動する団体の方、公民館クラブ員の方

### □陶芸講座

**【回数】** 年6回(日曜日)  
**【初回】** 9時～10時30分 6月8日(日)  
**【2回目以降】** 9時～11時30分  
 6月22日、7月6日、7月20日、8月24日、9月7日  
**【場所】** 初回 明日香村中央公民館 作業所  
 2回目以降 講師の工房  
**【教材費】** 5,000円程度  
 ※金額は多少前後する可能性があります。  
**【定員】** 15名  
**【講師】** 脇田 宗孝 先生  
**【締切日】** 4月20日(日) ※先着順  
**【受講資格】** 村内在住・在勤、村で活動する団体の方、公民館クラブ員の方

### □手話講座

喜怒哀楽表現を中心に、明日香村のおもてなしに役立つ手話を学べます。  
 受講生の皆さまが手話でコミュニケーションをとれることを目標に進行します。  
**【回数】** 全24回(木曜日)  
**【日時】** 20時～21時  
 4月24日、5月8日、5月22日、6月12日、6月26日、7月10日、7月24日、8月7日、8月21日、9月11日、9月25日、10月9日、10月23日、10月30日、11月13日、11月27日、12月11日、12月25日、1月8日、1月22日、2月12日、2月26日、3月12日、3月26日  
 ※都合により日程が変更になる場合があります。  
**【場所】** 明日香村中央公民館 2階 研修室1  
**【受講料】** 1,320円(教材代)  
 ※昨年と教材が異なるため、全員必要になります。  
**【定員】** 15名  
**【講師】** 上村 文洋 先生  
**【締切日】** 4月20日(日) ※先着順  
**【受講資格】** 村内在住の方、村で活動する中高生以上の方

### 【申し込み・問い合わせ】

公民館主催講座申込書に必要事項をご記入いただき、**公民館窓口**まで持参してください。  
 明日香村大字橘21番地 明日香村教育委員会事務局 教育課 ☎54-3637 FAX54-5551

## 公民館主催講座申込書

申込講座名	英会話講座(初級)・英会話講座(中級)・陶芸講座・手話講座 ※希望講座に○をお付けください。
住所	〒 -
電話番号	
ふりがな氏名	

令和7年度 第51回 飛鳥史学文学講座—やまと・あすか・まほろば塾—

【場 所】 明日香村中央公民館

講	開 講 日	所 属	講師(敬称略)	演 題
第1講	4月13日(日)	関西大学飛鳥文化研究所・ 植田記念館名誉館長 関西大学名誉教授	米田 文孝	牽牛子塚古墳の副葬品再考 —七宝亀甲形飾金具の用途を中心に—
第2講	5月11日(日)	関西大学文学部教授	乾 善彦	「額田王ノート」再考 —ウタを「書く」こと—
特別講	6月 8日(日)	明日香村教育委員会 文化財課課長補佐 関西大学非常勤講師	西光 慎治	自然災害と飛鳥の都 —災害考古学からの警鐘—
第3講		作家 関西大学客員教授	玉岡 かおる	聖徳太子をばらばらにする —明日香から羽ばたいた 偉人の真実と虚構—
特別講	7月13日(日)	関西大学文学部教授	村元 健一	7世紀の倭王宮 —飛鳥と難波を中心に—
第4講		関西大学文学部教授	井上 主税	大和地域における5~7世紀の 百済系渡来人
第5講	8月 3日(日)	関西大学非常勤講師	今尾 文昭	天武・持統陵と『阿不幾乃山陵記』 —解明と課題—
第6講	9月14日(日)	関西大学文学部教授	森部 豊	法隆寺の香木とソグド人 —ユーラシア世界の中の古代日本—
第7講	10月12日(日)	関西大学文学部教授	長谷 洋一	大和の神像・仏像 —これまでの調査を振り返って—
第8講	11月 9日(日)	関西大学名誉教授	西本 昌弘	蘇我本宗家と飛鳥周辺の邸宅 多角形古墳を考える
第9講	12月14日(日)	関西大学客員教授	徳田 誠志	—「古墳」の終焉と 「日本」の始まり・終章—
第10講	1月18日(日)	関西大学文学部長	村田 右富実	歌から見る持統朝 —泣血哀慟歌を読む—
特別講	2月 8日(日)	天王寺楽所雅亮会理事長 (一社) 雅楽協会代表理事 関西大学客員教授	小野 真龍	神道的音楽感性の結晶としての 宮中の「御神楽」 —阿知女作法に焦点をあてて—
第11講		明日香村村長 関西大学客員教授	森川 裕一	飛鳥・藤原の世界遺産登録 —「文物の議、是に備われり」 “藤原京”誕生 !! —
第12講	3月 1日(日)	関西大学文学部教授	黒田 一充	奈良県の祭りのお仮屋

公民館だより

公民館クラブと村民の皆さまの短歌

短歌

- ・ 節分を過ぎて春雪うつつらと下で芽ぶくや福寿草花
  - ・ 坪庭の千両万両の赤い実が待ち遠しく思う座敷の客を
  - ・ 農の道厳しい日々に体力付け助け合いこそ業に勝りぬ
  - ・ 最強の冬將軍がきたるらし日本列島津々浦々に
  - ・ 裸木に越来一つ大空にむかひ向ひて春を待つらし
  - ・ 若き頃我を出しあい夫とわれ歳とりお互に気遣う日々なり
  - ・ 節分にながぶり一口恵方巻かんびよう甘し亡母の味遠し
  - ・ 坂を行く雲に遇いたくのぼりゆく雲に包まれ流れゆきたし
  - ・ 山茶花の今が盛りと咲く花に蜜を求めて六羽のメジロ
  - ・ いきいきと「六甲おろし」の声若し老人クラブのジャズコンサート
  - ・ 戦さなき八十年の年重ね初日に願う戦後よ永久に
  - ・ 年が明けまた歳をとる除夜の鐘オサラバしたし顔あげ行かん
  - ・ 被爆者の思い受け継ぐ若者よ「微力だけれど無力ではない」
  - ・ あらら、またライン通知がピンポンと挨拶忙し年末年始
  - ・ 耳掻きをせがむ孫らを膝枕に横顔まぶし元日の午後
  - ・ あらたまの巳年迎えん玉砂利の清らなる音神社に満ちて
  - ・ 春立ち梅一輪にとまりたる若きうぐいすのぐぜり鳴く声
  - ・ 幼子はけんかしながら塗り絵するやはり二つは揃えておこころ
  - ・ 能登地震に遇いし人より届きたり着物で作りし巾着袋
  - ・ 儂くも少しアルトのその声は懐かしきかな友の声なり
  - ・ 「まあしたきやあすればいいと想っております」袴田巖を守る姉秀子
  - ・ 田や畑や草を隠して雪積もる歌ちらるるか山茶花の紅
  - ・ 「吐田米うましと食みて」と詠みたまふ歌びとありて元旦は晴れ
- 辰巳 陽子  
山本 能世  
森本 博文  
西村 道子  
森田 幸子  
吉田 清子  
脇田 智子  
奥 まさみ  
森本 武志  
松本 義夫  
脇本 雅子  
井本 智子  
森本 千鶴子  
豊田 絹代  
尾関 常子  
友田 昌子  
藤川 幹代  
山本 修  
上中 幾代  
勝川 京子  
田中 祥子  
米田 郁夫  
米田 靖子